

取扱説明書

安全懸架式リハビリテーションリフト SPシリーズ TG-1000/800



はじめに

この度は本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。ご使用前に、本説明書を最後までお読みいただき、禁止事項、使用上の注意事項、正しい操作方法などをご理解の後、ご使用ください。

また本説明書をお読みになった後は、いつでも見られる所に、大切に保管してください。

目 次

1. 安全上のご注意	2
1-1. 本説明書での表示方法	2
1-2. 設置場所について	3
1-3. 取り扱い全般について	3
1-4. 使用上の注意	4
1-5. 保守点検と改造について	6
2. 各部の名称	6
3. ご使用前の点検	7
4. 手元スイッチ	7
5. 操作方法	
5-1. ハーネス HV の装着方法	8
5-2. TG-1000 の使い方	9
6. コントローラーの追加い方	11
7. 充電器について	12
8. 寸法	12
9. 点検とメンテナンス	
9-1. 日常点検	13
9-2. お手入れ	13
10. 保証について	14
11. 仕様一覧	14

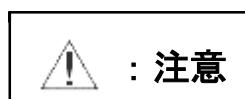
1. 安全上のご注意

1-1. 本説明書での表示方法

この安全上のご注意では、注意事項を「危険」、「注意」の二つに区別しています。



取り扱いを誤った場合に、危険な状況が起こりえて、
死亡または重傷を受ける可能性が想定される場合。



取り扱いを誤った場合に危険な状況が起こりえて、
中程度の障害や軽傷を受ける可能性が想定される場
合、および、物的障害のみの発生が想定される場合。

[絵表示の例]

1)	 	危険・注意を促す内容があることを告げるものです。 図の中に、絵や文章で、具体的な注意事項が記載されています。 (記載例) : 感電危険を示します
2)		禁止の行為であることを告げるものです。 図の中や近傍に、絵や文章で、具体的な禁止内容が記載されています。
3)		記号は行為を強制したり、指示したりする内容を告げるものです。 図の中や近傍に、絵や文章で、具体的な指示内容が記載されています。 (記載例) : アースを接続してください

1-2. 設置場所について

 : 危険	
	<ol style="list-style-type: none">1. 平らの床面に設置してください。傾斜している場所や段差がある所では使用しないでください。転倒の恐れがあります。2. 水を使用する場所や湿気の著しい場所で使用、保管しないでください。故障や感電の原因となります。3. 平らで安全な所へ置いてください。直射日光のあたる場所や暖房器具の近く等、高温になる場所に置かないでください。

使用環境：下記の環境でご使用ください。

	使用時	保存時
温度範囲	0°C ~ 40°C	-10°C ~ 40°C
相対湿度範囲	85%RH以下	85%RH以下

1-3. 取り扱い全般について

 : 危険	
	<ol style="list-style-type: none">1. 本説明書の内容を熟知しない人は、使用しないでください。2. 本製品は歩行訓練を目的としています。これ以外の用途には使用しないでください。3. ハンガーに専用の吊り具以外のものは掛けないでください。荷物や異なる形状の吊り具などを吊ると不安定な状態となり、怪我をする恐れがあります。4. 本製品は日本国内に限って使用するよう製作しています。日本国外では使用しないでください。
	<ol style="list-style-type: none">1. <u>交流電源用コンセントはアース端子のあるものをご使用ください。</u> 

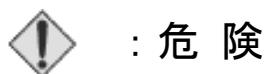
1-4. 使用上の注意

 : 危 険	
	<ol style="list-style-type: none">1. 質量 100 kg 以上の荷重をかけないでください。2. TG-1000 を移動させる時は、障害物に注意してください。3. 過度の斜め吊りは行わないでください。4. 吊り具を首や手首等に引っかけたまま、操作を行わないでください。5. <u>浴室では使用しないでください。</u>6. 本体に水をかけたり、水中に落としたりしないでください。7. 充電は、指定された充電器以外では行わないでください。 (リチウムバッテリー仕様)
	<ol style="list-style-type: none">1. <u>訓練者ご自身で操作される場合は、施設や病院で十分な訓練を行い、取り扱いに習熟した後、ご使用ください。また、異常時に緊急呼び出しが出来る手段を必ず設けてください。</u>2. 動かす前に、ハンガーに他のものが絡まっていないか、確認してください。3. ハンガーに吊り具を着脱するときは、ハンガーが振れないよう、手でおさえてください。そのまま作業しますと、思わぬ方向にハンガーが振れ、けがをする恐れがあります。4. ハーネス、ベルトを体に装着してリフトを上下する場合は、ハーネス、ベルトの掛け紐がハンガーのフック（掛け具）に確実に掛かっていることを確認してください。外れたままリフトを上げ下げしますと、訓練者に苦痛を与えること、リフトから落下し怪我をする恐れがあります。5. 操作するときは、ベルトスリングの動作を常に見ながら行ってください。見えない位置から操作すると、第三者や障害物に当たったり、引っかかったりし、怪我や 器物破損の原因となる恐れがあります。6. 万一本体や手元スイッチを水中に落とした場合、水に浸かった場合は、使用しないで、速やかにお求めになられた販売店にご連絡ください。7. 充電器の受電赤ランプが点滅したら、速やかに、お求めになられた販売店に連絡してください。

1-4. 使用上の注意

 : 危 険	
	<ol style="list-style-type: none">1. 手元スイッチに水をかけたり、水中に落としたりしないでください。2. 警告および注意表示の銘板やラベルを外したり、不鮮明なままで使ったりしないでください。
	<p>＜リチウムバッテリー＞</p> <ol style="list-style-type: none">1. 電源を入れておくと、本製品の制御回路には、停止中も僅かな待機電流が流れ、バッテリーを消耗しています。使用後は、電源を切ることをお薦めします。2. 電源を切っておいても、バッテリーは自然放電のため再充電が必要となります。3. 電源を入れたときモーターの赤ランプが点滅したら、速やかに充電して下さい。充電せずに放置すると、ブザーが鳴動します。電源を切り、充電してください。充電せず放置しておくと再充電出来なくなることがあります。（ブザーは電源を切ると停止します）

1-5. 保守点検と改造について

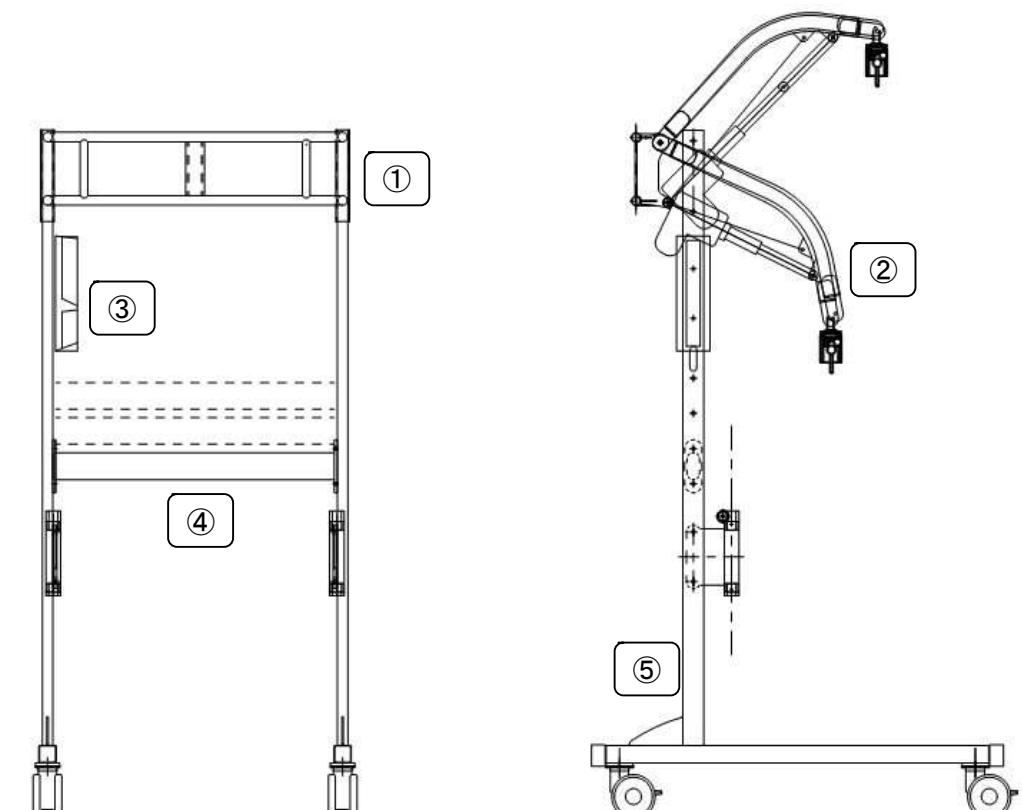


：危険

	<ul style="list-style-type: none">・ 製品および付属品の分解、修理、改造はしないでください。
	<ul style="list-style-type: none">・ 保守点検および修理は、当社が認めた専門業者、または、当社が認めた専門知識のある人がおこなってください。

2. 各部の名称

図



- ① アッパーフレーム
- ② アーム
- ③ バッテリー
- ④ ロアーフレーム
- ⑤ 支柱

⑥

3. ご使用前の点検

! : 危険	
!	<ol style="list-style-type: none">動かす前に、ハンガーに他のものが絡まっていないか、確認してください。初めて使用する前に、人を乗せずに昇降を行い、次のことを確認してください。<ol style="list-style-type: none">障害物がないか円滑に昇降するか異常な音や振動がないかTG-1000（モーター）の電源表示灯が点灯しているか

手元スイッチ

4. 手元スイッチ

1. スイッチの使い方

図1

①スイッチでアームの上昇下降の操作を行います

②スイッチのボタンから手を離すと停止します



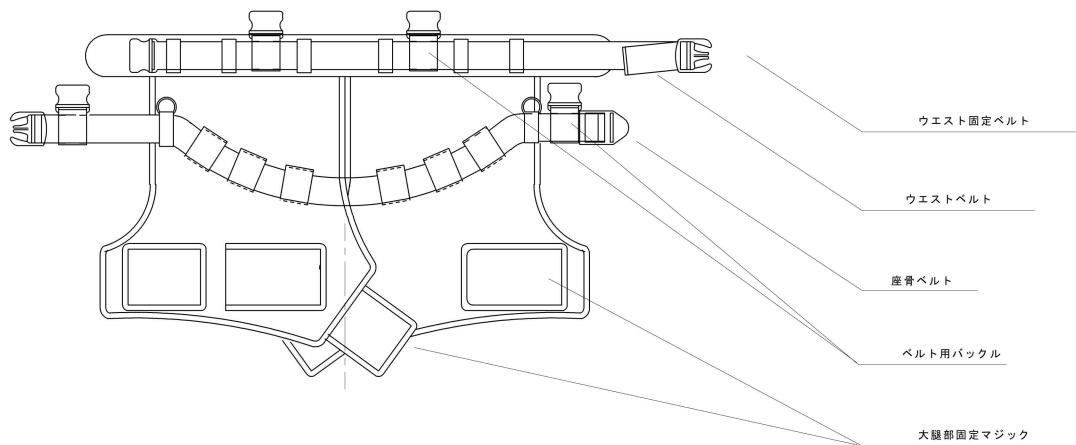
図1

! : 注 意

	<ol style="list-style-type: none">スイッチは防湿使用のため水没やシャワーで水を掛けるとリモコン内に水が入り故障の原因となりますので極力水を直接掛けないでください。<u>湿気の著しい場所では使用しないでください。</u>
--	---

5. 操作方法

5-1. ハーネスHVの装着方法



- ① ウエストベルトを腰に軽く締めます
- ② 大腿部内側のマジックテープを、膝上近くでしっかりと巻きつけます
- ③ 大腿部外側のマジックテープを外側から内側へ巻き付けます。(左足も同様に巻いて下さい)
- ④ 裏側の座骨支持ベルトを座骨下の位置に合わせます。この時、きつく締めすぎないようしてください
- ⑤ ウエストベルトのバックルを装着してください
- ⑥ 座骨ベルトに付いている金属リングに延長ストラップを通して下さい
- ⑦ バックルで各ストラップに4か所固定します

注意

- ・ 耐荷重は100kgとなります。体重が100kgを超える方には、使用できません

お手入れ

- ・ 吊り具は消耗品です。破れやほつれがないことを確認してから、ご使用して下さい。発見した場合、直ちに使用を中止し、お求めになられた販売店にご連絡ください
- ・ 消毒は5%グルコン酸ヘキシジン溶液を100倍希釀した溶液に浸漬して下さい
- ・ 洗浄は中性洗剤をご使用の上、手洗いをお薦めします

5-2. TG-1000/800の使い方

5-2-1 トレッドミルと合わせて使用する場合

1. TG-1000 をトレッドミル後方から差込みます。ハンガーの位置を目標に設置位置を決定し、キャスター全てのブレーキをロックします
2. スプリングハンガーにハーネス又はウェストベルトのストラップを掛けます
3. リモコンスイッチの上がるボタンを押し、適切な免荷量で昇降を止めます（免荷量計 MHS-2600 の取扱説明書を参照ください）
4. フロントバーの高さを調整します
5. トレッドミルを作動させます



5-2-2 TG-1000/800 を単独で使用する場合

1. キャスターのブレーキをロックします
2. スプリングハンガーにハーネス又はウエストベルトのストラップを掛けます
3. 手元スイッチの上がるボタンを押し、適切な免荷量で昇降を止めます（免荷量計の使用方法は MHS-2600 取扱説明書を参照ください）
4. フロントバーの高さを調整します
5. キャスターのロックを解除し、直進・自在・旋回に設定する
6. セラピストが訓練者の側面又は後方から歩行指導を行えます。場合により、ポストをセラピストがつかみ、TG-1000/800 を動かしてください



6. コントローラーの使い方

名称：

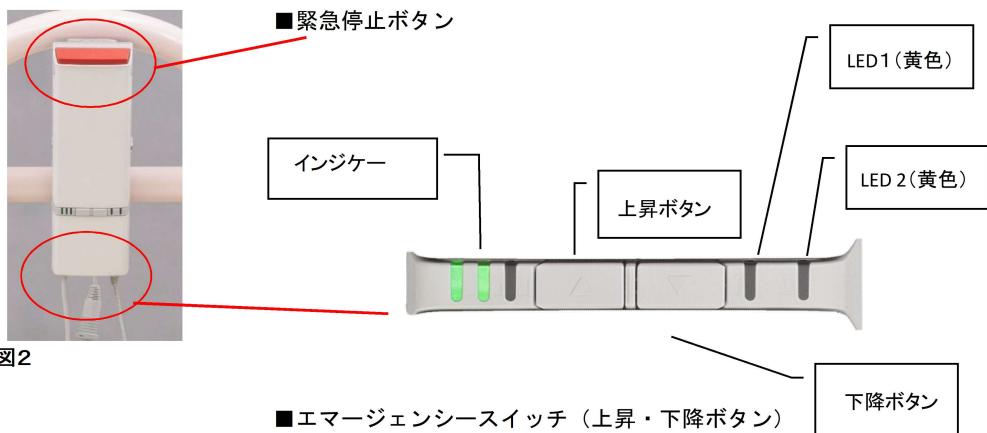


図2

- ①使用前にバッテリーの残量を確認してください。
図3を参照ください。
- ②操作中の誤作動を防止するため、または非常に動作を停止したい場合はバッテリー上部の緊急停止ボタン(赤色)を押してください。
図2を参照ください。
※機能を復帰するにはバッテリー両端の丸ボタンを押すとバッテリーが外れ解除します。
使用するには、バッテリーを再度取り付けてください。
- ③スイッチの故障時にはエマージェンシースイッチ、上昇ボタン、下降ボタンを押してアームを上下動してください。

図3

インジケーター	LEDの状態	残量目安
	3本点灯	75～100%
	2本点灯	50～75%
	1本点灯	50%未満
	1本黄色点滅	微量 たちに 要充電

LED1(黄色) + LED2(黄色)の表示説明

正常時、LEDは消灯しています。点灯及び点滅時の状態と対応については図4を参照ください。

図4

LED1+2	LEDの状態と動作	対応
	LED1点滅 動作不可	点滅解消 まで待機
	LED1+2点灯	緊急停止 ボタン 解除
	LED1+LED2 点滅(速) 動作不可	要点検
	LED1+LED2 交互点滅(遅) 動作不可	要点検
LED1+2	LEDの状態と動作	対応
	LED2点滅(遅) 一時動作不可	障害物に干 渉していな いか確認
	LED1点滅(遅) 一時動作不可	点滅解消 まで待機
	LED2点灯 動作可	消灯するま で、モーター を縮める
	LED1点灯・動作可	要点検

7. 充電器について

TG-1000/800使用するリチウムイオン電池は充電器で充電します

名称:



インジケーター

充電コード

●充電方法

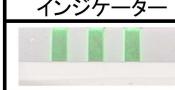
充電器に下記写真のようにバッテリーを接続してください、電源プラグをコンセントに接続してください。



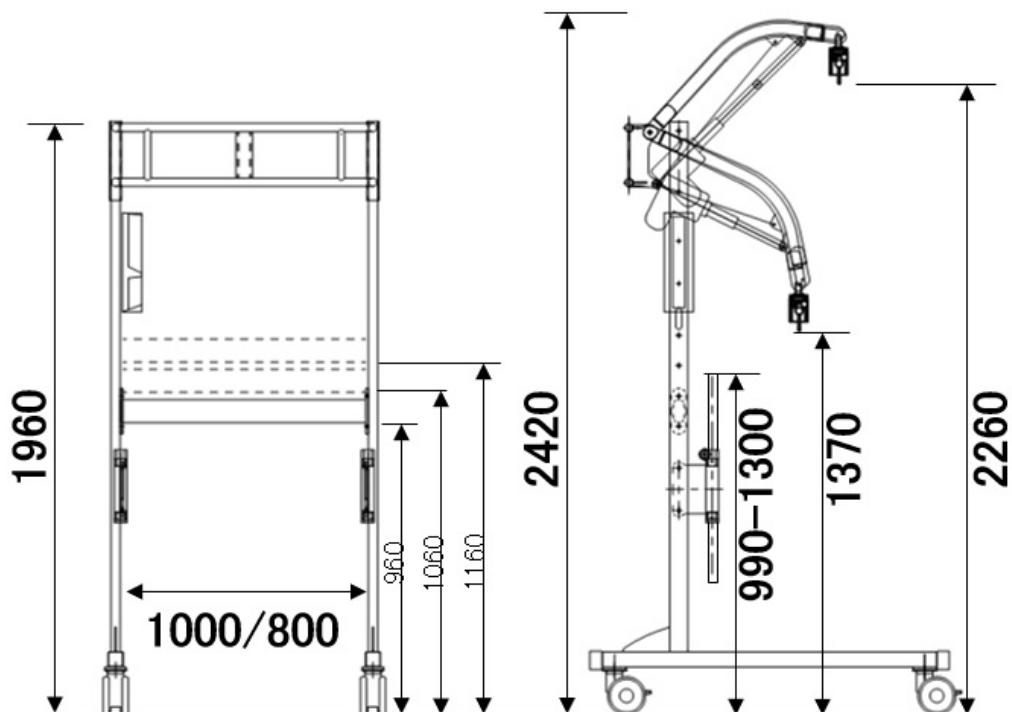
●充電目安時間:4時間
(消耗により異なります)

●バッテリーの交換
バッテリーケースのまま交換します。面倒な配線作業はございません。
※お買い上げいただいた販売店までお問い合わせください。

●インジケーターの表示について

インジケーター	LEDの状態	充電状態
	3本点灯	90~100%
	2本点灯 1本点滅	65~90%
	1本点灯 1本点滅	40~65%
	1本点滅	0~40%
	3本点滅	エラー (要点検)
	3本消灯	接続不良

8. 寸法



9. 点検とメンテナンス

9-1. 日常点検

次の事項を点検してください。

項番	点 検 事 項	点検結果	処 置
1	本体に変形、摩耗などはないか。		修理依頼
2	ハンガーのフック部に亀裂、損傷はないか		ハンガー交換
3	ハンガー接続部が確実に装着されているか		部品取付
4	手元スイッチに損傷はないか		修理依頼
5	上昇時に上限で停止するか		修理依頼
6	昇降時に異常音や振動はないか		修理依頼
7	フロントバーはノブで固定されているか		部品取付
8	バッテリー装着時、電源表示灯が点灯するか		修理依頼
9	吊り具（ハーネス・SPベルト）に損傷はないか。		吊り具交換
10	キャスターは固定されているか		修理依頼

9-2. お手入れ

本体・モーター部の汚れは、中性洗剤での拭き取りをお薦めします。シンナーやベンジンは使用しないでください。

10. 保証について

本製品は、1年間の保証期間となります。ケーブル、バッテリーなどの可動の部品はこれにあてはまりません。保証対象となる欠陥は無償で修理いたします。その場合、保証書の提示が必要です。この条件にあてはまらない要件に関しては受けられません。輸送中に発生した欠陥については、本来の梱包状態であり、製品が保護されていた場合のみ保証の対象となります。そのため、梱包部材はすべて保管ください。

11. 仕様一覧

形 式	TG-1000 / 800
耐荷重	100kg
上下ストローク	約1,360mm
操作方法	手元スイッチ
昇降速度 (平均)	上昇: 36.3mm/sec、下降: 37.2mm/sec
耐用年数	6年
電源	リチウムイオン電池 (型式 BAL50) 重量 900g
出力電源	25.2DCV
入力電源	29.4V
保護装置	<ul style="list-style-type: none">・緊急停止ボタン・エマージェンシースイッチ・クイックリリース・挟み込み防止・バッテリー残量表示
本体・脚部	材質: 鉄
本体質量	約 60kg +ハンガー

※ 本仕様書は予告無しに変更することがあります。

※ 本製品は日本国内に限って使用する目的で設計・製作しております。
日本国外での使用は責任を負いません。

製造発売元



■本 社／〒491-0074 愛知県一宮市東島町3-36

お客様相談室
[24時間受付]
モリトホームページ
Email

TEL (0586) 71-6151 FAX (0586) 72-4555

0120-65-2525
<http://www.moritoh.co.jp>
info@moritoh.co.jp

■札幌営業所／〒063-0870	北海道札幌市西区八軒十条東1-1-57-101	TEL (011) 708-5200 FAX (011) 708-5201
■仙台営業所／〒981-1102	宮城県仙台市太白区鏡原6-9-22	TEL (022) 302-7914 FAX (0586) 72-4555
■埼玉営業所／〒336-0025	埼玉県さいたま市南区文藏4-12-6-103	TEL (048) 753-9393 FAX (03) 5531-5550
■中部営業所／〒491-0074	愛知県一宮市東島町3-36	TEL (0586) 71-6151 FAX (0586) 72-4555
■大阪営業所／〒577-0016	大阪府東大阪市長田西2-6-2 寺西コンバクトオフィスB号	TEL (06) 6785-7202 FAX (06) 6785-7203
■岡山営業所／〒700-0954	岡山県岡山市南区米倉30-102	TEL (086) 259-2910 FAX (0586) 72-4555
■福岡営業所／〒811-1204	福岡県那珂川市片桐東1-12-1	TEL (092) 953-1892 FAX (092) 953-1973
■東京支店 ■ショールーム／〒135-0063	東京都江東区有明3-5-7 TOC有明イースタワー9階2号室	TEL (03) 5531-5555 FAX (03) 5531-5550
■信濃大町 研修センター／〒398-0001	長野県大町市大字平22393	TEL (0261) 23-1678



